

学ぶところが輝く学校

茅ヶ崎市立汐見台小学校

学校だより 2月号

令和7年 2月 3日

校長 楠山 小百合

さまざまな体験を通した学びづくり



新しい年が始まり、あっという間に1か月が過ぎました。さまざまな方々にお世話になりながら、子どもたちは貴重な体験を重ね、学習につなげています。「汐小しょうゆづくり」は、昨年春から育ててきたもろみを1月22日(水)にしぼり、おいしい醤油になりました。子どもたちも1年間の学びを実りのあるものとして、次の新しいステージで活かしてほしいと思います。

2月12日(水)からは、各学年の授業参観・懇談会が始まります。子どもたちの成長した姿をご覧いただき、ご家庭でもこの1年間を振り返り、子どもたちの頑張りをほめていただければと思います。

1・2年生 『元気寄席』 茅ヶ崎市文化芸術教育プログラム 1月24日(金)



汐見台小学校のランチルームが寄席に大変身!! 茅ヶ崎市の文化芸術教育プログラム事業で、落語家の柳亭小燕枝さん、紙切り芸人の林家楽一さんをお招きして『汐見台小学校 1・2年生 元気寄席』が開かれました。この事業は、文化芸術を通して次代を担う子どもたちの豊かな創造性や感受性を育むことを目的として、茅ヶ崎市文化会館のスタッフを中心に 企画、プログラムを作成していただきました。当日は、朝から舞台担当の方々が高座を組み、会場設営。



1・2年生の児童は、いつもと違うランチルームの様子にドキドキわくわく!

初めに小燕枝さんから、寄席や落語についての説明があり、その後「初天神」という新年によくお話しされる落語で大笑い。その次に、楽一さんの紙切りになりました。ハサミー丁で、馬・力士の土俵入り・うさぎ・へびと、子どもたちのリクエストに応えながら、即興でハサミを操り切っていく楽一さんの技は圧巻。子どもたちもびっくりで、感心する声と大きな拍手が自然とおこりました。初めから終わりまで笑い声がつきることがありませんでした。あっという間の50分でお開きとなりました。当日の様子は、タウンニュース2/7(金)号に掲載される予定です。そちらもぜひご覧ください。

3年生 『茅ヶ崎市博物館・清水農園』 茅ヶ崎市内めぐり 1月16日(木)



社会科見学で茅ヶ崎市博物館に出かけました。学芸員の皆さんの丁寧な説明で、液晶画面付きの茅ヶ崎市の立体地図をみんなで囲み、昔と今の海岸の位置の違いや土地活用の歴史を学びました。また、茅ヶ崎の自然や人々の暮らし、戦時中の様子の説明を聞き、グループごとにタブレットで資料を撮影しながら見て回りました。



昼食後は、萩園の清水農園の見学をさせていただきました。土づくりの肥料として主に使っているのが馬糞ということに子どもたちは驚き、他の肥料よりも匂いが少なく土がふかふかになるといった理由についても学びました。この時期は青ネギ、かぶ、緑や紫などの珍しいブロッコリーが育てられていて、東京ドームほどの広い畑の敷地を歩いてまわりながら、土のおいも感じ、そして農家の方の野菜の説明やお仕事でのお話もたくさん聞きました。

本校では、清水さんに10年ほど前から毎年のように農園を見学させていただき、ご指導をいただいています。子どもたちのために本当にありがとうございました。